



平和公園 虹の塔

春



茶屋ヶ坂公園

夏

千種区  
史跡  
散策路



秋



揚輝荘 聴松閣

冬



日泰寺 五重塔

## 目次

史跡散策路コース別ポイント	……………	P2・3	
史跡散策路各コース	コース地図	コース概要	
1 古井の里と丸山村めぐり	……………	P4・5	P14
2 千種公園とみずのみちめぐり	……………	P6・7	P15
3 覚王山・四谷めぐり	……………	P8・9	P16
4 山口街道と民俗史跡めぐり	……………	P10・11	P17
5 平和公園文化人墓碑めぐり	……………	P12・13	P18・19

## 史跡散策路 コース別ポイント

### 古井の里と丸山村めぐり

#### 「高牟神社」

神社の境内に湧き出している清水は「古井(恋)の清水」と呼ばれる霊水で、これを飲むと恋が生まれると言われています。恋にまつわる神社として、この「高牟神社」と「城山八幡宮」、北区の「山田天満宮」をあわせて参拝する『恋の三社めぐり』があります。



### 千種公園とみずのみちめぐり

#### 「千種公園」

ユリの名所として知られる公園で、5月下旬から6月中旬にかけて約10,000球のユリが咲き誇ります。

#### 「鉦薬師」

堂内に数多くの鉦彫りの円空仏が安置されています。毎月21日の日泰寺の弘法縁日に公開されており、10時から14時まで拝観できます。

#### 「すいどうみち緑道」

1kmほどある「すいどうみち緑道」には桜が植えられており、春には見事な桜のトンネルになります。



## お願い

- 史跡・文化財は、わたしたちみんなの貴重な財産です。よごしたり、傷つけたりしないようにしましょう。
- 自然を大切に、樹木を折ったり、ごみを捨てたりしないようにしましょう。
- 史跡等の見学・拝観では、所有者や管理者の指示に従ってください。

### 覚王山・四谷めぐり

#### 「桃巖寺」

守護神は弁天像で、中でも「ねむり弁天」が有名です。その他、座高10mの名古屋大仏もあります。秋は、紅葉がきれいです。



### 山口街道と民俗史跡めぐり

#### 「茶屋ヶ坂公園」

千種区の花「アジサイ」が約5,000株植えられており、6月頃に見ごろをむかえます。



### 平和公園文化人墓碑めぐり

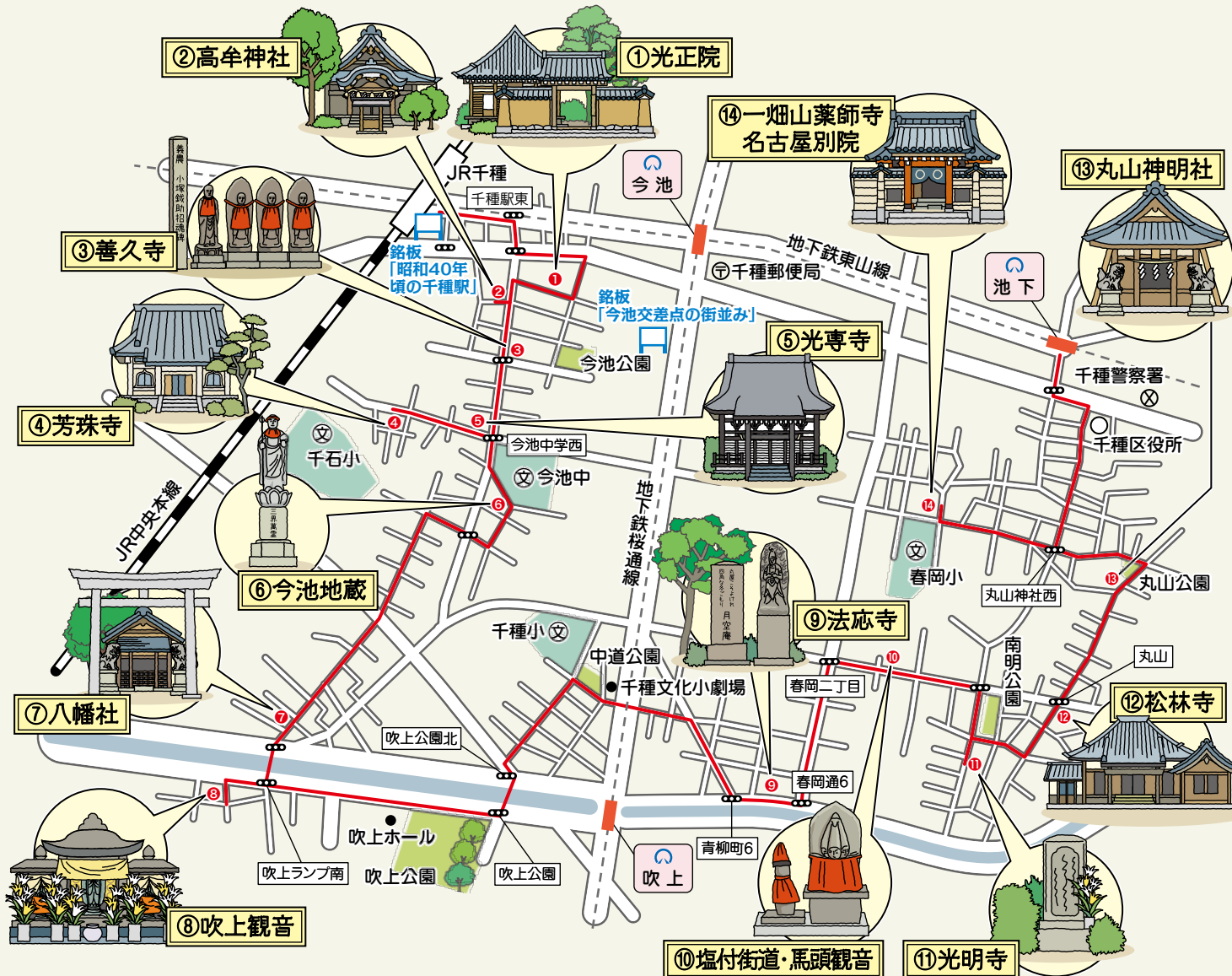
平和公園には、郷土をつくった偉大な先人たちの墓碑が数多くあります。また、広い敷地内を散策できる「平和公園一万歩コース」があります。



## 史跡散策路

## 古井の里と丸山村めぐり

古井伝説の地、高牟神社から郡道を経て吹上へ。この辺り、かつての古井村には恵まれた水にまつわる伝承が多く残されています。路傍の馬頭観音に往事のにぎわいをしのびつつ、道は東へと向かい、旧丸山村の松林寺や丸山神明社をめぐる。



## コース順路 (全長約6km)

- JR 千種駅  
地下鉄
- ↓ 300m
  - ① 光正院 (こうしょういん)
  - ↓ 50m
  - ② 高牟神社 (たかむじんじや)
  - ↓ 200m
  - ③ 善久寺 (ぜんきゅうじ)
  - ↓ 500m
  - ④ 芳珠寺 (ほうしゅうじ)
  - ↓ 200m
  - ⑤ 光専寺 (こうせんじ)
  - ↓ 200m
  - ⑥ 今池地蔵 (いまいけじざう)
  - ↓ 900m
  - ⑦ 八幡社 (はちまんしゃ)
  - ↓ 200m
  - ⑧ 吹上観音 (ふきあげかんのん)
  - ↓ 1,500m
  - ⑨ 法応寺 (ほうおうじ)
  - ↓ 500m
  - ⑩ 塩付街道・馬頭観音 (しおつけかいどう・ばとうかんのん)
  - ↓ 300m
  - ⑪ 光明寺 (こうみょうじ)
  - ↓ 300m
  - ⑫ 松林寺 (しょうりんじ)
  - ↓ 300m
  - ⑬ 丸山神明社 (まるやましんめいしゃ)
  - ↓ 400m
  - ⑭ 一畑山薬師寺名古屋別院 (いちばたさんやくしじなごやべついん)
  - ↓ 500m
- 地下鉄 池下駅

□ 銘板「今池交差点の街並み」(昭和49年3月)

□ 銘板「昭和40年頃の千種駅」

※昔の街並みなどの写真を掲載した案内板

史跡散策路

# 千種公園とみずのみちめぐり

千種区

春にはらん漫の花で彩られる桜並木のすいどうみち緑道をのぼりつめると、そこは静寂に包まれた鉦薬師。中国風の石仏が迎えてくれます。天満すいどうはしを渡ると天満緑道。さらに千種公園へと続く、水と緑に憩うみち。



## コース順路 (全長約7.5km)

- 地下鉄 今池駅  
↓ 300m
- ①大昌寺 (だいしょうじ)  
↓ 1,400m すいどうみち緑道・和みの散歩道
- ②山神社 (やまじんじゃ)  
↓ 300m
- ③鉦薬師 (なたやくし)  
↓ 600m ★東山給水塔
- ④四観音道 (しかんのんみち) と道標 (どうひょう)  
↓ 700m 天満緑道
- ⑤上野天満宮 (うえのてんまんぐう)  
↓ 100m
- ⑥長養寺 (ちやうようじ)  
※建替工事中。2020年1月頃完成予定  
↓ 200m
- ⑦永弘院 (ようこういん)  
↓ 550m
- ⑧晴明神社 (せいめいじんじゃ)  
↓ 400m
- ⑨愛宕神社 (あたごじんじゃ)  
↓ 1,500m
- ⑩素盞男社 (すさのおしや)  
↓ 500m
- ⑪千種公園 (ちくさこうえん)  
↓ 600m
- ⑫蝮ヶ池八幡宮 (まむしがいはちまんぐう)  
↓ 500m
- ⑬蝮ヶ池龍神社 (まむしがいけりゅうじんじゃ)  
↓ 200m
- 地下鉄 池下駅

- 銘板「仲田本通商店街の街並み」(昭和10年頃)
- 銘板「地下鉄池下駅前の風景」(昭和35年)
- ※昔の街並みなどの写真を掲載した案内板

# 史跡散策路

# 覚王山・四谷めぐり

千種区

参道を進むと、山門の偉容が姿を現し日泰寺へと至ります。  
 姫池通を渡った城山の森一帯から四谷にかけて、  
 織田・徳川ゆかりの名刹が続きます。  
 徳川義直公の母の菩提寺相応寺から、  
 信長の父信秀が築いた末森城址。  
 さらに性高院から、信秀ゆかりの桃巖寺へと、  
 歴史散策の道はロマンをかきたてます。



## コース順路 (全長約 5.5km)

- 地下鉄 覚王山駅  
↓ 400m
- ①千体地藏堂 (せんたいじぞうどう)  
↓ 50m
- ②日泰寺 (にったいじ)  
↓ 150m  
★揚輝荘 (ようきそう)  
↓ 250m
- ③日泰寺奉安塔 (にったいじほうあんとう)  
↓ 300m
- ④尋盛寺 (じんせいじ)  
↓ 50m
- ⑤台観寺 (たいかんじ)  
↓ 100m
- ⑥大龍寺 (だいにりゅうじ)  
↓ 200m
- ⑦大林寺 (だいにりんじ)  
↓ 200m
- ⑧相応寺 (そうおうじ)  
↓ 100m
- ⑨善篤寺 (ぜんとくじ)  
↓ 100m
- ⑩正法寺・曹洞宗高等尼学林 (しょうぼうじ・そうとうしゅうこうとうにがくりん)  
↓ 900m
- ⑪城山八幡宮・末森城址・旧昭和塾堂 (しろやまはちまんぐう・すえもりじょうし・きゅうしょうわじゅくどう)  
↓ 1,600m
- ⑫性高院 (しょうこういん)  
↓ 700m
- ⑬桃巖寺 (とうがんじ)  
↓ 400m
- 地下鉄 本山駅

■ 銘板「覚王山日泰寺の参道」(大正時代)  
 ※昔の街並みなどの写真を掲載した案内板

# 史跡散策路 山口街道と民俗史跡めぐり | 千種区

東区山口町から東、長久手方面へと伸びていたかつての山口街道沿いには、今なお人々の信仰を集めるさまざまな民間信仰があります。地域の人々に大切に守られているこれらの地をたどりながら、香流川沿いに長福寺へと至ります。



## コース順路 (全長約6km)

- 地下鉄 茶屋ヶ坂駅
- ↓ 100m
- ①三十番神社 (さんじゅうばんじんじゃ)
- ↓ 500m
- ②吉見幸和の墓 (よしみよしかずのはか)
- ↓ 300m
- ③弘法堂 (こうぼうどう)
- ↓ 200m
- ④金森明神 (かなもりみょうじん)
- ↓ 400m
- ⑤上野天満宮別宮 (うえのてんまんどうべつぐう)
- ↓ 100m
- ⑥茶屋ヶ坂公園 (ちやがさかこうえん)
- ↓ 700m
- ⑦ちよろちよろ弘法 (こうぼう)
- ↓ 1,200m
- ⑧横堤 (よこづつみ)
- ↓ 1,300m
- ⑨馬頭観音 (ばとうかんのん)
- ↓ 500m
- ⑩長福寺 (ちょうふくじ)
- ↓ 600m
- 市バス 香流橋東停

### 茶屋ヶ坂公園

6月頃、約5,000株の「区の花 アジサイ」が見ごろをむかえます。



# 史跡散策路 平和公園文化人墓碑めぐり | 千種区

平和公園には、市内250ヶ所以上の寺の墓地を当地に集めてできた大規模な墓碑群と、市内に残された数少ない広大な自然があります。その自然の中で、猫ヶ洞池から桜の園へと散策し、また、郷土をつくった偉大な先人たちの墓碑をめぐり、過去から未来へ思いを馳せます。



## コース順路 (全長約4.5km)

- 地下鉄 星ヶ丘駅  
↓ 市バス  
市バス 平和公園南停  
↓ 200m
- ①大原幽学 (おおはらゆうがく) 高さ約2m  
↓ 10m
  - ②牧墨僊 (まきぼくせん) 高さ約1m  
↓ 80m
  - ③片岡源五右衛門 (かたおかげんごえもん) 高さ約1.5m・約3m  
↓ 100m
  - ④平岩親吉 (ひらいわちかよし) 高さ約3m  
↓ 200m
  - ⑤松平仙千代 (まつだいらせんちよ) 高さ約1m  
↓ 10m
  - ⑥星野勤左衛門 (ほしのかんざえもん) 高さ約2m  
↓ 200m
  - ⑦鈴木胤 (すずきあきら) 高さ約1m  
↓ 800m
  - ⑧平手政秀 (ひらてまさひで) 高さ約2m  
↓ 20m
  - ⑨伊藤圭介 (いとうけいすけ) 高さ約2m  
↓ 950m 猫ヶ洞池/メタセコイア広場  
桜の園/★平和堂
  - ⑩寺村馬六 (てらむらぼろく) 高さ約1m  
↓ 250m ★虹の塔
  - ⑪徳川宗春 (とくがわむねはる) 高さ約3m  
↓ 3m
  - ⑫陳元賛 (ちんげんぴん) 高さ約1m  
↓ 300m
  - ⑬山本梅逸 (やまもとばいいつ) 高さ約1m  
↓ 1,000m
- ★献体の塔/★アクアタワー  
↓ 300m
- 市バス 光ヶ丘停  
↓ 市バス  
地下鉄 星ヶ丘・自由ヶ丘駅



## 史跡散策路 古井の里と丸山村めぐり

### ①光正院 こうしょういん

永正16(1519)年の創建。本尊は釈迦如来像。



### ②高牟神社 たかむじんじゃ

延喜式(927年編さん)にも記載されている古い神社。



### ③善久寺 ぜんきゅうじ

天正19(1591)年の創建。本尊は聖観世音菩薩。境内に明治の小作争議の指導者小塚鍼助の碑が建っている。



### ④芳珠寺 ほうしゅうじ

本尊は延命地藏菩薩。南北朝から室町時代の作で秘仏。尾張六地蔵の第六番札所。次回公開は2040年の予定。



### ⑤光専寺 こうせんじ

文禄2(1593)年、加藤清正の弟兵部少輔祐正が創建した。当時はこの辺りから丸山村にかけて、多くの信徒を持った。



### ⑥今池地蔵 いまいけじろう

かつてこの辺り(現在の今池中学校辺り)にあった馬池で溺れた人の供養のために、明治の終わり頃に建立された地藏尊。



### ⑦八幡社 はちまんしゃ

安政年間御器所村で創建され、明治時代に現在地に移る。この付近の地名をとって吹上八幡社とも呼ばれる。



### ⑧吹上観音

ふきあげかんのん

石造の千手観音像。名古屋新田頭小塚家の屋敷に建っていたという。文政4(1821)年に作られたと刻まれている。



### ⑨法応寺 ほうおうじ

天正15(1589)年、清洲に創建。清洲越えを経て、現在地に移転する。境内には、芭蕉門下の月空庵露川の「丸屋こそよけれ四角な冬ごもり」の句碑がある。



### ⑩塩付街道・馬頭観音

しおつけかいどう・ばとうかんのん  
塩付街道は、かつて南区の星崎辺りの浜で作られた塩を、内陸へ運ぶ道として利用されたところから、そう呼ばれた。



### ⑪光明寺 こうみょうじ

名古屋城築城の際に勘定方役人であった、鈴木安太夫重政の墓がある。重政は、この地から築城のための用材を切り出し、跡地を田畑にしたといわれている。



### ⑫松林寺 しょうりんじ

元龜2(1571)年の創建。本尊は薬師瑠璃光如来。両側に日光、月光菩薩、他に毘沙門天が祀ってある。



### ⑬丸山神明社

まるやましんめいしゃ

16世紀後半の建立という。入り口左手には、天保5(1834)年「村中安全」と彫られた、区内では数少ない秋葉常夜灯がある。



### ⑭一畑山薬師寺名古屋別院

いちばたさんやくしじなごやべついん  
臨済宗のお寺。本尊は薬師如来で、現世、未来ともに救われる仏様といわれている。



## 史跡散策路 千種公園とみずのみちめぐり

### ①大昌寺 だいしょうじ

もとは代々名古屋新田頭を務めた兼松家の私庵が、江戸時代末期に寺として創建された。尼寺として現在に至っている。



### ②山神社 やまじんじゃ

江戸時代この辺りは小高い土地で、畑が多い所であった。その農民が祀った山ノ神であるという。



### ③錠薬師 なたやくし

寛文9(1669)年、明国の帰化人で尾張藩祖徳川義直の御用医師を勤めた、張振甫によって建てられた。医王堂ともいう。



### ④四観音道と道標

しかんのみち どうひょう

尾張四観音とは荒子・甚目寺・竜泉寺・笠寺の四つをいい、これらの寺に通じる道を四観音道と呼んだ。



### ⑤上野天満宮

うえのてんまんぐう

天満宮といえば、祭神は学問の神様菅原道真である。今や受験の神様として名をはせ、入学試験の合格を願い、多くの受験生やその親たちが絵馬を奉納していく。



### ⑥長養寺 ちょうようじ

本尊は運慶作と伝えられる十一面観世音菩薩像。他に円空仏もある。境内には、名古屋城築城の折に城の安全を祈願して四方に置かれた石の一つである、青竜石がある。



※建替工事中。2020年1月頃完成予定

### ⑦永弘院 ようこういん

天文7(1538)年、上野城主下方貞清が建立した寺である。戦での勝利をもたらすとされる、勝軍地蔵と呼ばれる地藏菩薩がある。



### ⑧清明神社 せいめいじんじゃ

平安時代の陰陽師として知られた安倍晴明が、一時この上野に住んでいたといわれる跡に建てられた神社。



### ⑨愛宕神社 あたごじんじゃ

上野城主下方貞清が弘治2(1556)年に創建。尾張藩の塩蔵がこの付近に建てられ、その守護神としての役目という説もある。



### ⑩素盞男社 すさのおしや

各地にある素盞男(須佐之男)神社の一つ。末社、藪天王龍神社は、江戸時代初期より地域の人々に愛され続けている氏神様。



### ⑪千種公園 ちくさこうえん

旧日本軍の陸軍造兵廠千種機器製作所は、昭和20年の空襲で壊滅した。戦後、その跡地が市立東市民病院(現東部医療センター)や千種公園などに姿を変えた。



### ⑫蝮ヶ池八幡宮

まむしがいけはちまんぐう

江戸時代頃から、この付近一帯の農民の氏神として信仰されていた。蝮ヶ池と呼ばれる灌漑用の池に近いことからこの名がついた。



### ⑬蝮ヶ池龍神社

まむしがいけりゅうじんじゃ

蝮ヶ池は、大正末期に埋立てられた。その池の底であった一画に、水に縁のある龍神と弁天が祀られている。



### ★東山給水塔

日泰寺の北、錠薬師の東の小高い丘の上にツタのからまったネギボウズのような形をした塔が見える。これは市の水道の給水塔である。





## 史跡散策路 覚王山・四谷めぐり

### ①千体地藏堂

せんたいじぞうどう

日泰寺山門前の参道東側に建っている。堂内には錫杖と宝珠を持つ立像と半跏の延命地藏がある。



### ②日泰寺 につたいじ

明治33年ジャム(現タイ国)の国王から贈られた釈迦の遺骨を奉安するために、明治37年に建立された寺。わが国唯一の超宗派の寺院である。本堂、山門、五重の塔、鐘楼など見事な伽藍をほこっている。毎月21日の弘法縁日は善男善女で賑わう。



### ③日泰寺奉安塔

につたいじほうあんとう

高さ15mのガンダーラ様式の花崗岩仏塔で、仏舍利が安置されている。県指定の文化財である。



### ④尋盛寺 じんせいじ

文禄4(1595)年、尋盛上人が清洲に創建。中区の白川町を経て、現在地に移転。山門は清洲越し以来のものという。印章塚がある。



### ⑤台観寺 たいかんじ

もとは三重県にあったものを、大正7(1918)年この地に再建。本尊は行基作と伝えられる阿弥陀如来。境内には弘法大師作といわれる大黒天があり、春の大黒祭は賑わう。



### ⑥大龍寺 だいりゅうじ

江戸時代中ごろ東区新出来町に建立され、明治の末ごろ現在地に移転。通称「らかんさん」として親しまれている。建築様式は一見城郭のような唐様南蛮風のデザインになっている。



### ⑦大林寺 だいりんじ

寛永5(1628)年、尾張藩祖徳川義直の家臣滝川忠征が、名古屋築城の余材をもって中区桑名町に創建し、戦時に現在地に移る。滝川氏の菩提寺で、境内には滝川一族の墓碑が並ぶ。



### ★揚輝荘 ようきそう

(株)松坂屋を創業した伊藤家の別邸として約一万坪の土地に大正7年頃から様々な建物が移築、新築され、各界の要人や文化人の社交の場となった。その後、世の移ろいを経て、敷地も1/3ほどになったが、現在でも地階に壁画のある山荘風建物「聴松閣」や尾張徳川家ゆかりの座敷に洋室等を加えて建築した「伴華楼」、池泉回遊式の庭園などが残っている。平成19年に名古屋市内に寄贈され、翌年に5棟の建物が市指定文化財に指定された。一部公開中。



### ⑧相応寺 そうおうじ

寛永20(1643)年、藩祖義直が生母於亀の方(相応院)のために東区山口町に創建。昭和7年、現在地に移転。総門と本堂の額は義直の自筆である。

### ⑨善篤寺 ぜんとくじ

もとは美濃にあり、清洲越しで中区大須に移った後、昭和13年に現在地に移る。山門は清洲越し以来のもの。境内に筆塚がある。



### ⑩正法寺・曹洞宗高等尼学林

しょうぼうじ・そうとうしゅうこうとうにがくりん  
昭和22年、尼僧学林がここに再建され、後に愛知専門尼僧堂、特別尼僧堂も建立され、厳しい仏門修行が続けられている。



### ⑪城山八幡宮・末森城址・旧昭和塾堂

しろやまはちまんぐう・すえもりじょうし・きゅうしゅうわじくどう

城山の森一帯には、織田信秀が築いた末森城があった。父信秀の後を継いだ信行が兄信長に滅ぼされ、この城もわずか10年ほどで廃城となった。この城址に昭和11年に建てられたのが城山八幡宮である。本殿裏手には市内最大級のアベマキの古木の連理木(1本の木が途中で2つに分かれた後再び1本にくっついている木。縁起がよいとされる)が見られる。境内の南西にひっそりと建つ古い建物は旧昭和塾堂といい、昭和3年に青年団の社会教育の場として建設されたものである。



### ⑫性高院 しょうこういん

名古屋大学の西、鏡池通に面した8階建ビルの寺で、徳川家康の第四子松平忠吉の菩提寺である。境内には忠吉、天野信景、松平君山らの墓がある。寺には忠吉画像、双体地藏石碑、梵鐘など多くの市指定文化財が所蔵されている。



### ⑬桃巖寺 とうがんじ

織田信秀の菩提寺として信行が建立した。本尊は聖観世音菩薩。守護神は弁天像である。中でも「ねむり弁天」は有名である。境内には、信秀の墓と座高10mの青銅製の名古屋大仏や珍しい四方竹などがある。



## 史跡散策路 山口街道と民俗史跡めぐり

### ①三十番神社

さんじゅうばんじんじゃ

陰暦の1日から30日までの毎日交替して、法華經を守る神を三十番神といい、その神々を祀った社だといわれている。



### ②吉見幸和の墓

よしみよしかずのはか

吉見幸和(1673-1761)は、神道学者で、儒学や武術なども究めた。天野信景らとともに『新撰尾張風土記』の編纂に携わった。



### ③弘法堂 こうぼうどう

廿日弘法ともいわれ、毎月20、21日に地域の人が集まり、「お待夜(おたいや)」を行う。堂内には四体の石仏がある。その内一番大きい地藏像は道標仏で、「右・みなみかさでら道 左・坂を下って左へりゅうせんじ道」という刻銘がある。



### ④金森明神

かなもりみょうじん

別名「景清さま」と呼ばれ、眼病に霊験があるといわれている。景清とは、源平の合戦で失明した平家の武将である。



### ⑤上野天満宮別宮

うえのてんまんぐうべつぐう

上野天満宮のお旅所。現在は小さな祠が駐車場南西角に建てられている。



### ⑥茶屋ヶ坂公園

ちややがさかこうえん

茶屋ヶ坂の名は、昔山口街道のこの辺りに一軒の茶店があったところからついたといわれる。公園の中央に位置する池は、名古屋新田をうるおす用水池であった。



### ⑦ちよろちよろ弘法

こうぼう

お堂の脇からちよろちよろと清水がわき出ていることから、こう呼ばれている。このような場所にはよく弘法大師が祀られ、「弘法清水」と呼ばれた。



### ⑧横堤 よこづつみ

香流川の治水対策として、あふれた水をくい止め、矢田川に導くために幕末に築かれた土堤である。今は下に猫ヶ洞池からの排水路が通っている。



### ⑨馬頭観音 ばとうかんのん

安永9(1780)年と平成10年の銘をもつ二体の馬頭観音が祀られている。昔の仏像が戦時中に行方不明になってしまったが、昭和44年の区画整理中に発見された。現在、香流橋のたもとに新旧二体の観音様が仲良く並んで安置されている。



### ⑩長福寺 ちょうふくじ

市内では数少ない黄檗宗の寺。丸窓の中国風の造りがめずらしい。境内には、小牧・長久手の戦いの戦死者を弔った「たたり石」と呼ばれる石が祀られている。



# 史跡散策路 平和公園文化人墓碑めぐり

## ①大原幽学

おおはらゆうがく  
1797～1858

尾張藩の重臣大道寺家の出といわれ、農業振興と社会改善に生涯をささげた。彼が結成した先祖株組合は産業組合の先駆けとされる。(万松寺墓域)



## ④平岩親吉

ひらいわちかよし  
1542～1611

徳川家康に仕え、数々の戦功をあげた後、尾張藩祖義直の子守役となった。まだ幼い藩主に代わって藩の政務を執った。(平田院墓域)



## ⑤松平仙千代

まつだいらせんちよ 1595～1600

徳川家康の第8子で義直の実兄にあたる。わずか5歳のとき大坂で夭折した。(高岳院墓域)



## ②牧墨僊

まきぼくせん  
1775～1824

江戸時代後期の浮世絵師。初め喜多川歌麿に師事し、その後に文化年間(19世紀)葛飾北斎を自邸に招いてその画法を学んだ。北斎は墨僊の邸で「北斎漫画」の初編を描いたとされる。(万松寺墓域)



## ③片岡源五右衛門

かたおかげんごえもん  
1667～1703

赤穂四十七士の一人。尾張藩士熊井重次郎の二男として生まれ、浅野家の家臣片岡六右衛門の養子となった。そして藩主浅野内匠頭の小姓頭を務めた。(乾徳寺墓域)



## ⑥星野勘左衛門

ほのかんざえもん  
1642～1696

江戸時代初期の弓術家で尾張藩士。寛文2(1662)年4月、京都の三十三間堂の通し矢で日本一となり、さらに7年後にも再び日本一となった。(高岳院墓域)



## ⑦鈴木胤

すずきあきら  
1764～1837

近世名古屋が生んだ偉大な国学者。本居宣長の門下で、三部作「言語四種論」「雅語音声考」「活語断続譜」などの業績を残す。(誓願寺墓域)



## ⑧平手政秀

ひらてまさひで  
1491～1552

織田信秀の老臣で、信長の子守役。信秀の死後、行状の改まらなかった信長をいさめて自刃した。信長は彼の忠誠を惜しみ政秀寺を建てた。(政秀寺墓域)

## ⑨伊藤圭介

いとうけいすけ  
1803～1901

蘭法医・本草学の大家で、名古屋が生んだ偉大な植物学の先駆者。シーボルトと知り合い、長崎で動植物学を学んだ。明治になってからは東京大学教授となり植物学を講じた。わが国初の理学博士。(光勝院墓域)



★アクアタワー  
★献体の塔

## ⑩寺村馬六

てらむらばろく  
1709～1788

各務支考の門人。尾張美濃派の俳人として活躍した。号は楓左坊。秋雨塚と呼ばれる句碑には「蜘蛛の囿に秋の小雨のかかりけり」の句が読まれている。(長栄寺墓域)



## ⑪徳川宗春

とくがわむねはる  
1696～1764

第7代尾張藩主。大須に芝居小屋や遊郭を造るなど、都市の繁栄を促した。(建中寺墓域)



## ⑫陳元贊

ちんげんぴん  
1587～1671

張振甫と共に明国から帰化した文化人。藩主義直に招かれ、藩の顧問となった。書画、製陶、拳法、鍼灸などにも通じていた。(建中寺墓域)

## ⑬山本梅逸

やまもとばいいつ  
1783～1856

近代南画の巨匠。彫刻師の子として生まれ、苦学して絵を学び藩の御用絵師となった。卓抜な技法を駆使した豊かな花鳥画の傑作を多く残している。(洞仙寺墓域)



[ 史跡散策路番外編 ]

# ちくさ・銘板まちあるき MAP

歴史銘板とその周辺のスポットを合わせて8か所をめぐるコースです。



※歴史銘板はいずれも道路上にあります。銘板をめぐる際は、周囲の安全を確かめ、事故に十分注意しましょう。

千種区マスコットキャラクター  
こあらっち

編集・発行：名古屋市千種区役所地域力推進室

問い合わせ先：☎052-753-1825

・昭和62年初版・平成31年3月改訂版

